

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境市民厚生常任委員会		会議場所 第1委員会室 担当職員 小野
日 時	令和5年3月22日（水曜日）	開 議	午前11時05分
		閉 議	午前11時33分
出席委員	◎大塚 ○富谷 大西 大石 土岐 梅本 平本 西口		
理事者 出席者			
事務局	小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

会 議 の 概 要

1 開会

2 行政視察について

<大塚委員長>

3月17日（金）までに各委員から候補地の案を挙げていただいた。内容については、配付した資料のとおりである。日程の都合上、全ての自治体を視察することは難しいため、視察先の選定を行いたいと思うが意見はあるか。

<平本委員>

ヤングケアラーの取組が複数挙がっているが、候補の中でも特に群馬県高崎市が先進的な取組を行っている。

<富谷副委員長>

ヤングケアラーの取組は、近年の市民の関心事であり、今後、強化・充実していくべき事項である。群馬県高崎市の近隣である埼玉県でも先進的な取組をされているため、合わせて視察を行ってはどうか。

<西口委員>

子育て関連事業として、東京都小金井市で育児支援ヘルパーの視察を行ってはどうか。

<平本委員>

今回は、環境市民厚生常任委員会が所管する事項を広く視察することとし、ヤングケアラー、育児支援と合わせて長野県東御市で環境に関する取組を視察してはどうか。

<大塚委員長>

各委員から意見があったが、群馬県高崎市、埼玉県、東京都小金井市、長野県東御市を視察先としてよいか。

—了—

<大塚委員長>

以上の自治体を候補地として調整する。実施時期について意見はあるか。

<大西委員>

議会活動に生かせるよう、早い時期に実施してはどうか。

<富谷副委員長>

視察すべき内容を事前に勉強し、常任委員会として情報共有してから実施してはどうか。

<平本委員>

視察の実施時期とも関連するが、担当課と意見交換や協議を行い、亀岡市の現状や課題を把握した上で視察を実施すべきである。具体的には、4月から5月にかけて、情報収集を行い、6月議会を終えて7月に行政視察を実施してはどうか。

<西口委員>

視察すべき内容を急いでまとめ、必ずしも6月議会までに実施する必要はないと思う。視察先の都合もあるため、余裕をもって6月議会後に実施してはどうか。

<大塚委員長>

事前に担当課から事業の内容、本市の現状や課題について説明を受け、意見交換や協議を行った上で、7月に行政視察を実施することとしてよいか。

—了—

<大塚委員長>

そのように進めることとする。

～ 1 1 : 3 3